京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

東拓人物評論（七）

▲宇佐川總裁▼（六）　翠山

然りと雖も人格と技倆とは別物なり、男の人格と性情とが比較的他に超絶したるものあるにせよ總裁としての技倆手腕に於て缺く所あらば亦何の用をか爲すべき乎、而して然りとせば會社が一世の批難を受け、惡評を蒙るは理に於て免る能はざる所なり、而も未開地開拓の大任を帶ぶる人物は其の人格の優雅なるよりも技倆を先とし、性情の圓滿なるよりも手腕を重んず、然らば此の理より推して男は將して此等の任に堪ふべき技倆と手腕とを有するにや、

余輩は固より今に於て將來に於ける男が技倆の有無と手腕の如何とを斷言するものに非ず、同時に又會社に對して所謂世人が口にするが如き批難惡評の聲に雷同するものに非ず、唯余輩は男が總裁として任に韓國に來りてより現今に至る迄の事蹟と經營との跡に鑑みて徐ろに男が總裁としての器にあらざるを發見し、會社の爲めに歸つて更に心轉た危懼の念に堪へざるものあり、非は他なし、男が少なくとも之が總裁として其の不適任なるを現はし來りたればなり、靜屯出評價の失敗、社内の内訌等は之れ明かに會社の面目を失墜し、併せて男の劣腕を表現せし唯一の證左にあらざるなき乎。

思ふに男の賢明なる素より自己が東拓總裁としての適不適を知らざるに非ざるべし、而してもし男が桂侯との關係上私情を以て餘儀なく其の職に就きしとせば男は之れ疑ひもなく自らを欺き、又他をも欺くものなり、而して更らに男が總裁として飽迄不適任さを知りつゝ其の職に在りとせば之れ私情を以て公事を潰すものなり、何れにしても世間の誤りを買ひ社會の批難を蒙るは免る能はざる道理なり、されど余輩は早計にも男に向つて辭職を勸告するが如き愚を敢て爲すものに非ず、寧ろ砥礪自省、將來に於て男の成効を祈つて已まざるものなり。

されど男は商賈的に利益の打算を明かに極むる人に非ず、一除一減、數を逐ふて前途を考へ、算を推して將來を圖る人に非ず、唯其の頭腦の明斷と計劃の周匝とは自ら算盤的の推理計算とは其の趣きを異にせるなり、故を以て余輩が東拓總裁として男の前途を危む所以のものは決して謂なきに非ざるなり。而り轍鮒は水を離れたり男が總裁としての前途や果して如何なるべき。

文苑

一夜　かひで

○一夜、雨上りの月の晩であつた、床上に横になつて、文藝史を讀んで居た、傍に愛さんが、罪のない顔して、よく眠つて居るので、この可憐な子の平和の夢を破らしたくないと、僕は身体を動かさんやうにして讀んで居た。

スルと、俄に頭がグン／＼鳴つて來た、續いて熱が強まつて來た、そして、あつい汗がダク／＼と流れる、寢衣を三度許着換へて見たが、それでも亦、流れて來る、枕までが、グシヨ濡にぬれて仕舞つた、アヽ苦しい／＼と呻吟いてる間に、何時か自分は眠つて居た。

眼が覺めた、妻が泣さうな顔して、枕元に座つて居た、愛さんが、未だスヤ／＼と眠つて居る、全く罪のない子だ。

靜かな夜に、ゴーン／＼と鐘路の鐘が鳴る、もう十二時だ、妻を寢かしてから、僕も眠むらうとしたが、去年、花の東京を出てから、今又、鳥歌ひ、花笑ふ頃となつた、アヽこの一年間、僕の得たるもの果して、何ものであらうか、「沒趣味な、不滿ない生活」斯んなことを考へながら、夜の白む頃までは、如何しても眠られなかつた、六時頃になつて、ヤツとトロ／＼と眠つた。

●文明●　奇楓

偶然、某店の店頭を過ぐ。電光の燦たる下に、眼醒むる許りの大奢装よ、來るは女波の、行くは男波の入り交り立ち交りて、アレよ、コレよと、現を拔しての品評よ。

アヽ文明とは、ダイヤ入の指環を嵌めて、これ見よがしに誇る蟻甫の世を云ふにや、將又、シルクハットに燕尾服を着けたる、僞紳士の横行縱歩の世を云ふにわらんか。見よ、天下は擧つて、滔々浮薄の惡風に慣れ、滔々虚榮の醜俗を逐ふて止ざるにあらずや、人の子等、徒らに黄金に跪き、權門に阿ねることのみを知れるなり、サテも危い哉、廿世紀の文明よ。



佐倉宗吾（五十六）

眞龍齋貞水講演

窓下に於て、足輕同士が甥の大和の噂をしてゐるのを、御聞き遊ばした播磨殿 播「ホー、さては大和は、私のため甥であるが家に據ると表面に忠を見せ、内心御家を覆へさんとするか、やはり惡人同意の者か知らぬ、それとは知らず致して、昨日は弱年の身を以て、斷るべは成り兼ねると云つて、此方を添役までに致したのは、此叔父の播磨までを欺いたものと見える、憎い奴なり、それとは知らず、先代大和世を去つた後は、我子の如く思ひ、文武兩道の指南を致し、家老職にまで取立てやつたは返す／＼も私の不覺であつた、汝恩義を忘れて、此播磨まで偽り居つたか」と、老の一徹、ひら／＼ッとすると一刀を拔げ、其まゝ東の御小屋なる堀田大和の處へ駈付け、叔父甥の間ですから、案内もなくツカ／＼ツと御通りとなり、來て見ると大和は齋寢の内に薄抱衣を懸けて机にもたれトロ／＼ツとして居るから、手を掛て 播「大和ッ、起きろ……大和ッ」びつくりして大和は眼を開き 大「これは叔父上樣 播「默れッ、汝に於ては、さても／＼憎惡い奴なり、能くも此叔父のため、幼年から丹精されたる恩を打忘れ、此播磨までも欺き居つたな、何故罪科もなき領分百姓を、計略を以て御下屋敷へ生擒た、汝は正しく國家老堀田玄番に加擔する大惡人なるぞ、今この庭で、一刀兩斷、斬つて捨てるから覺悟を致せ、大「ア、イヤ、暫くれ待なさい 播「イア待てとは卑怯なり、汝、覺悟……」最早斬付けん見幕なれば、大和は大に驚き、大「暫く御待ち下さい、片言を聽いて罪を定むるとは、叔父上にも似合はしからざる御量見なり、貴下も御家故老の家老職ではござらぬか、先づ一通り、此大和が申し上げる事、御聽き遊ばし後ち御斬り捨に相成るとも、決して逃き少はござるまい、暫時御氣を鎭め、此大和が申し上げる事、よく御聽き下され 播「ナニッ…然らば何事なりと早く申せッ、礑かに汝は、表面に忠を飾り、内心惡人の者に相違ない 大「イヤ、其儀は先づ御控へ下さい、どう云ふ理由で、左樣な事を仰せらるゝ 播「サア、今此方の小屋の窓下に於て、足輕共の話を聞けば、汝に於ては計略を以て、百姓一同を、麻布の御下屋敷へ押込めたる由 大「是はしたり、成程手前が、公津村々役人、宗五郎に對し、申し聞けましたのは、町方へ逗留して、此願ひを上げて居るに於ては、隨分入牢も掛ることでわらうから、兎に角麻布古川の御下屋敷に、二棟の長屋が空いて居るに依て、此處へ一同引取れ、出入の町人に申し付け、賄方を致させ擔はすと云ふ事は、拙者が申しましたには相違ござらぬ、畢竟かく致しますれば、何分かの入費も減ずる事であらうと、彼等が憫然に存じましたから、一言申し聞けたのでござる、然れども其事は未だ、確と行ひたる譯には是なく、若し昨夜、百姓を連れ込みたりとあらば、夫は何者かゞ、殿へ對し讒言を構へ、斯く申す大和の名儀を騙りしものと存じまする、叔父上、よく御聽き下さい、昨日も殿の御前より、小屋へ退つて參りますや否や、譜代席の者、抱席の者と威勢爭ひの騷動出來、いや恐い時には恐いもので、それを手前が夜の更けるまで双方を說き諭し、以來は斯樣な事なきやう御家のため忠勤を勵みますやう納得させて一同を立歸らせ、さて如何したら良からうか、國表百姓は、御駕籠訴にも及ぶと云ふ此際に、此の如く内輪が二派に破れては、御家の一大事と、昨夜は眠りもせず、寢所にも入らず、此机にもたれてトロ／＼ッとも致したる所、風邪でも引いては成らぬと、此抱衣を懸けくれましてござる、之を以ても手前の心中、御察し下さりませ、何卒堀田玄番同類の者などは、先づ／＼叔父上、御控へ下されたし」と、忠勤の志、備[illegible]に溢れて申し開きに及びました。



地方通運業の必要

京城新報

目賀田男が財政顧問として韓國財務の釐革に着手するや地方の金融に對して新案を講じ或は國庫金取扱所を設け其他種々なる方法に依りて地方の收稅を確實鞏從ならしむるに鋭意盡力したりき、而して保護政治の實施せらるゝに及ては更に歩を進めて從來徴稅の權を有せる郡守の手より徴稅の權を奪ひて單に行政官となせり、租稅は勿論米納を金納となせり地方に於ける經濟上の狀態は玆に全く一變したりき、舊組織の破壞に對する新組織は漸次建設されつゝあり、當日余輩が述べたる如く金融機關の如きも度支部は農工銀行の出張所を設け或は金融組合を增設する等稍々整頓せんとす、然るに通運の便に至りては未だ何等の設備なし從來地方の通運は郡田の收入を以て駄馬を飼育し之によりて其地方產出の物資を運搬し以て運輸の便を計りたるものなり、之を監督しつゝ自己の懷を肥し居りたる郡守を單に一個の行政官となしたる結果は此等監督の權を奪ひたれば通運は殆ど杜絕の姿となれり、斯くして弊害ある舊組織の破壞せられたるは喜ぶべしと雖も、之に替るべき新組織を爲さず永く其儘に放擲するは不可なり、否一日と雖も等閑に附すべき事に非ず、通運の便開けざれば地方の物產は之を交易する途なし、現今地方が甚だしき疲弊の狀態に陷入りしは暴徒の蜂起或は其他の理由もあるべしと雖も、通運の便開けざる爲に產物の販路を得ざることは重なる原因ならずんばあらず、余輩の聞く處を以てすれば地方に於ける米大豆麻等の相場は極めて安く而も其非常に安價にして需用多き米大豆等が產地に堆積せりと云ふ、斯る奇異なる現象を呈する所以は安全なる通運の便を缺ぐが爲なり、農民としては折角に辛苦して作りたる產物も通運の便なき爲に市場に供給する能はざるより空しく產物を抱きて利する所なく自然自棄して懶惰となるに至る、一例を擧れば忠淸道の片田舍に於ては玄米一石を以て金巾の上衣一枚を買ひ得ざるなりと云ふ、忠淸道にして然り況や北韓地方に於ては其不便困難推して知るべきのみ、是を以て觀るも通運便を缺く地方民が如何に經濟上不利益の地位に立てるやを知るべき也

現在鐵道の便ありと雖も、鐵道の便は沿線二三里のみ、其餘は殆ど鐵道の恩澤に浴する能はず、韓國政府も現に道路の修築をなしつゝあり、而も商業的道路とする考へならん、現在の所斯る程度にまで進まざるなり、先以て舊驛傳組織の廢止に對して通運機關の新組織をなして急に應ぜざる可らず、其組織たるや車輛を以てするも、駄馬を以てするも人力を以てするも并は其地方の便宜に依るべしと雖も、要は最も安全に物資を運搬するにあり、而して鐵道沿線に近き所は之を利用するの方法を講じ、鐵道なき地方は其便宜に依りて安全の方法を採るべし、斯の如くにして通運の便開くるに於て地方の經濟狀態は一變して活氣を帶び來るべし、其組織の方法は日本に於ける內國通運會社の如くするを可とす、內國通運會社は韓國にも支店あれば之に經營せしむるもよし、要する所は安全に物資を運搬し得れば可なり、地方の問屋は韓人になさしむも亦可なり、度支部當局に於ては既に此等の考案あるべし、余輩は地方經濟の疲弊を歎じ之を救濟するの方法を案ずるときに於て當局者の金融組合增設を斷行せらるゝを喜ぶと共に更に通運機關の新組織を希望するもの也

東京電報

政友會員の召喚

日糖事件に關し今朝栗原亮一外政友會に屬する議員四名裁判所に召喚され取調べを受けたり（十五日發）

外報一束

邦人酒業禁止

桑港官憲は在留民の營業權を無視し日本人に酒小賣の營業鑑札を下附せざることゝなりしが在留民間の一大問題となり十二日愈市參事會を相手取り加州上等裁判所に訴訟を提出したりと

勞働禁止反對

在哈爾賓交涉局太守は露國が露曆一千九百十一年一月一日より支那勞働者禁止條例を施行し支那勞働者の家屋借入、工事請負及び露國人にして支那人を雇ひ入るものを罰する事を發表せるにつき其實行以前に該法を廢止せん事を露國に交涉ありたき旨吉林巡撫を經由して外務部に電請せりと

佛國海軍不備

佛國議會委員はツーロン港に於て戰鬪艦及び彈藥工場等を訪問し海軍に準備なく漁檣は餅れなる狀態に在り彈藥亦不十分なるに驚駭したり

裁判權の移動

一千九百六年六月發布米國裁判所構成法に依り上海米國總領事裁判權は本年六月二十日以後副領事の手に移され又國務卿は時宜に從ひ指定する所ある筈同時に總領事は一切裁判上の職務を解かるべしと

英兵の波斯上陸

波斯の土族ブシール市(波斯灣岸)に於て掠奪を行ひつゝあり爲に英國水兵は同國に上陸したり

希克間の戰雲

クリート島と希臘の間に敵意の復興せることを布告せられ形勢切迫せり

雜報

學部決算報告

隆熙元年度に於ける學部所管經費の豫算額は歲出經常部二十八万六千八百五十三圓、歲出臨時部二十六万七千零十五圓、合計五十五萬三千八百六十八圓にして豫算現額は歲出經常部三十萬三千四百四十七圓、歲出臨時部は四十二万一千七百十七圓、合計七十二萬五千百六十四圓なるを以て豫算現額の豫算額に比し增加すること十七万一千二百九十六圓なり、而して此增加額の內十四万三千四百五十七圓は前年度よりの繰越額にして二萬七千八百三十九圓は第一豫備金を以て補充し若しくは第二豫備金を以て支辨したる金額なりと因みに同年度に於ける各部の決算報告は曩きに軍部の爲したる處のみにて今般學部は稍々調査の結果漸く爲し度支部の如きは決算報告を爲すに準據すべき簿冊なきを以て元年度の報告は廢止すべしと云ふ

學事法規改正

學部にては現行師範學校令施行細則高等學校令施行細則高等女學校令施行細則普通學校令施行細則等を改正するため目下研究中なるが遠からず部令を以て發布する筈なり尚今回新定せらるゝ實業學校令施行細則も同樣起草中なりと

副統監視察豫定日割

曾禰副統監は明十八日京城出發視察の途に就かるゝが其豫定日割は左の如し
十八日午前八時五十分南大門發同日大邱着一泊
十九日大邱發同日馬山着一泊
二十日馬山より鎭海灣を經て釜山着、釜山より(釜山拔錨は未定)迎日灣寄港二十二三日頃元山着一日滯在、元山より鬱陵島に至り同島より直に上陸慶興洞に至る

度支部會計法改正

度支部にては現在の會計法に不備の點あるを以て之れが改正を企て目下草案起草中なるが既に之れが委員の任命もありたりと云ふ

昨年度の罹災救恤

昨年中內部にて取扱ひたる全國各地の罹災救恤金の交付は九回にして其の金額七百三十七圓七十錢なりと

漁業出願者愈多數

水產局の出張員より同局への報告に依れば馬山方面にて漁業の出願者は八百件にして未提出の分尚百余件あり之れに釜山方面を合する時は三千餘件以上に上る由にて頗る盛況なりと云ふ

農商工部ご漁業圖

農商工部に於ては韓海の漁業に就ての便宜上漁業圖を作れるが漁業の種類は一見してこれを知り得べく頗る精密のものにて不日諸官衙へ頒布すると同時に某商店に命じ發賣せしむる筈なりと

第一艦隊の來元期

第一艦隊は元山港に來る事となれるが今回來元するは敷島、筑波、香取、生駒、日進、春日の六隻にして伊集院司令長官の統率に係るものなりと

兩縣巡查募集狀況

內部警察局にては熊本廣島の兩地方に於て巡查募集中なるが熊本にては應募者二百九十名にして學科成績に及第したるもの四十名あり廣島にては應募者二百二十名あり本日試驗を執行する由

管內警察署長會議

警視廳にては毎月二回管內警察署長會議を開く事とせるが昨日午後二時より總監邸に其の例會を開催し事務の打合せをなせり

幾湖興學會の總會

幾湖興學會にては十五日午後二時より總會を開きたるが李俊鎔、李址鎔の諸氏列席の上該會附屬學校經費補給の件に付凝議せり

京城民團の協議會

京城民團にては來る二十五日頃熊谷民長上京中の報告と漢城病院問題其他の事項に就き協議會を開く筈なりと云ふ

杜國前大臣の出發

滯京中なりし杜國前國務大臣ミユレル氏外一名は昨日午前南大門發新義州へ向へり

巨智部博士の出發

巨智部博士は今十七日午前八時五十分の南大門發列車にて歸朝の途に就きたるが見送り人は韓の重もなる官吏及び其の他紳商紳士にて一時は構內雜踏を極めたりと

服部暢氏の送別會

元京城日報主筆服部暢氏は近々歸國する由なるを以て同志のもの相圖り明十八日午後六時より花月樓に於て送別會を開催することに決定せり

學務擔任主事赴任

今回任命せられたる學務擔任の道主事は本月廿五日迄に內部に參集し內部學部の訓示を受けたる上夫れ〲赴任する筈なり

東拓の內情（三）

第廿五議會開會中貴族院に於て議事の東洋拓殖會社補給費の件に及ぶや廣澤伯、曾我子等頻りに四十一年度補給額全部卅萬圓支出の不當を鳴らし七萬五千圓に削減すべき旨を論じて措かず當時若槻大藏次官以下岡野敬次郎氏等之れを駁する者多く商法を楯とし卅萬圓支出の理を說く焉んぞ知らん自から商法を說く者却て既に商法違犯の行爲を敢てせるを是れを之れ與に盜人猛々しとは謂ふ也然らば此の

▲不法成立會社の現狀は如何、宇佐川總裁以下各重役は昨今會社の爲めに何を爲しつゝあるか彼等にして一片の良心あらば今や當に勵精事に當り少くとも商法違犯の跡仕末に忠實なるべき也而して事實に於ては然らず彼等は自から分外の給與を厚うし下級社員をして却て薄給に泣かしむる外何事をも爲し居らず即ち宇佐川總裁の年收入額一萬九千六百圓、吉原副總裁は一萬三千七百六十圓、岩佐理事は一萬千六百十圓井上、林兩理事は各々一萬千百十圓、韓國側副總裁閔泳綺氏は九千六十圓同理事韓相龍氏は七千五百六十圓にして別に定款第七十八條に依り總裁は賞與金として利益の百分の十を受くべき權利あり結局

▲收入二萬數千圓に達すべく以下之れに準じて各重役の收入數千圓宛を增加すべきを以て單に重役のみの給與額を計上するも何ぼ約十萬餘圓に上る即ち彼等は政府の補給年額三十万圓の三分一を獲得せんとする也況んや其の秘書役或は課長等に對する給與額の如き孰れも二千圓乃至五千圓の間にあるをや而も下級社員に至つては俸給廿圓舍宅料四圓宛の給與を受くるに過ぎず辛く下宿料を拂ひ得るに止る給與制の偏頗なる多く斯くの如し人或は拓殖會社を評して是れ「補助」のみ彼れは座せり然れども步する能はずと言ふ洵に所以ある也（完、萬朝報）

日淸境界地の測量

一昨日統監府より草梁居留地の日淸境界地に對し測量として技師同地に出張し淸國領事館よりも買領事實地に臨み先づ地形より測量し始め一週間にて結了の豫定なりと

京中首席教諭決定

京城中學校首席教諭は現任長野縣立長野中學校長農學士小寺甲子二氏に決定し次席教諭は第二高等學校教授たりし文學士神谷四郎氏に決定せり

築港大會實行委員

仁川築港期成居留民大會實行委員二十三名は昨日午後三時仁川日本人商業會議所に於いて再昨日撰定せられたる七名の實行委員より指定さるゝ筈

當地氷の需用高

其の筋にて調査したる所に依れば京城市中に於て一ケ年間に要する氷の總高は約七百五十萬斤にして麻浦又は龍梁津等に蓄藏するもの、るが野菜又は魚類の蓄藏を爲すには京城にても釜山と同じく冷藏庫の設備肝要なるべしと

警察署と代書業者

仁川警察署にては統監府訓令第九號第八條に依り代書規則改正せられ公務員にあらざるのものより提出に係る書類にして代書に係る時は代書者をして其の代書の事由及び其の書類を本人に讀み聞かせ尙ることと附記せしめ之れに違背せしむる扱かひになりたるを以て仁川代書業者を昨日署內に召喚し訓諭する所あり

京城文庫の寄贈書

當商業會議所內なる京城文庫は昨今成績却々良く料理、衛生、裁縫等に關する書籍も略ぼ揃ひ從つて閱覽者も增加せし由尙四月六日以後同文庫に寄贈したる諸氏は左の如しと
臺灣總督府、熊本商業會議所、關稅局、石井新、岸利信、上州新報社、阪東新聞社、京仁商報社、近藤佐五郞、中央日報社、三宅朝鮮社、度支部吉松憲郞、富之貞太郞、建文館、

舒川の漁業根據地

長崎縣水產組合聯合會は忠淸南道舒川郡南面長岩里前坪に於ける干潟三町四反餘を韓國政府より貸與せられたるにつき過日同聯合會副組長は同根據地の視察をなしたりといふ

敎育補助金年度別

釜山管內日本人會立小學校にして統監府より敎育補助金を受くるものは此程夫々理事廳より寄附を了したり今之れが年度別を爲さんか

▲一時補助金（三百圓）洛東（百圓）浦項、多大浦、德頭、進永

以上は本年四月よりにして本年度內二ケ年補助金として認可せられしものは密陽、三浪津、東萊、蔚山、鎭海、金海、下端、鬱陵島

元山運輸部の解散

元山運輸部は過日同部構內に於て盛大なる解散式を擧行せし招待したる人數四百餘名の多きに達せり

壯丁者と花柳病者

今回釜山に於ける徵兵体格檢査は壯丁四百〇四人中花柳病に罹れるもの僅に八人即ち百分の二の割合にして日本內地の百分の二十に比して非常に少く殊に宮崎縣の如き百分の四十と云ふ多數の患者ありたりと

出入船と上陸者數

一昨日の仁川入港船は商船會社の木浦丸一隻にして出港船は社外船生玉丸の一隻なり尙同日の上陸者は非常に多く男九十四名女三十七名なりと

第二部學士會開催

在韓第二部學士會は今回辭任歸朝の巨智部博士送別のため昨日午后六時より淸華亭に開會出席者は二十餘名なりと

永井事務官歡迎會

富山縣事務官永井金次郞氏は水產業を視察すべく來京したる氏の友人諸氏は昨日午後六時より京城ホテルに於て歡迎會を開きたり

齋藤內部警視歸任

公州地方に出張中なりし齋藤內部警視山川同警部は一昨夜歸任せり

境內部警視の出張

境內部警視は咸鏡南北道に出張を命せられ本日出發往復三十日間の豫定なり

趙書記官等の出張

趙內部書記官井上同警部は平安南北道黃海道地方に出張を命せられ本日出發せり

韓海の遺利

從來日本通漁者の韓海に來れる者の大部分は西は群山より東は蔚山までの沿海にして群山以北の西海岸（卽黃海平安道）蔚山以東の東海岸江原咸鏡の兩道）の方面には通漁する者甚だ少なく今回漁業法の發布に伴ひ日本人の漁業出願をなす方面も亦從來の通漁區域に集注し殆んど其他を顧みざるが如き狀況なるが如し然るに西海岸及東海岸に於ける漁場は決して南海岸卽從來の通漁區域の漁場に比し優ることあるも劣らざるの價を有し殊に從來之れに着手せる者の少なき丈夫れ丈漁場を占有するに餘地多く他の競爭を生ずる如き場合も少なく其事業の性質に於ても最も大規模を以て經營し得らるべく內地漁業者の如きは單に南方面にのみ注目し其他を顧みざるが如きは最も不得策なるべきに依り之等漁業有志家は宜しく進んで是等東西兩海岸に及ぼすべき漁業組織を企て其の利權を獲得し置くの必要ありと庵原課長は語れり

本日の集會

▲微笑會 午後三時より大和町三丁目圓山太僧師宅にて例會提唱あり參聽隨意の由
▲南山本願寺 午後八時より例の通り說敎あり
▲釋宗[illegible] 本町七丁目[illegible]寺にては午后一時より說敎あり

敍任辭令

任高等官二等 農商工部技師 中村彥
陞一級俸 鑛業技師 小城齊

公人私人

▲大戶復三郞（辯護士） 入京中のところ十五日歸任に向ふ
▲高橋榮吉（富山縣水產講習所長） 十五日入京浦尾旅館
▲押田喜訓（同縣水產組合理事） 同上
▲本田幸介（勸業模範場長） 十五日水原より入京巴城館
▲石原半右衞門（釜山民團長） 昨朝入京

近事片々

▲京城、日報の東拓辯護は余りに露骨過[illegible]て會社も難有迷惑ならんア、物數寄
▲辯護 も多少の筋道立てば可なるも[illegible]鳥とする跡歷々たるが如きは更に效力な[illegible]
▲上等 田一反步三十四五圓京釜沿線は[illegible]に四十圓に價すとは何處から出たる標準[illegible]
▲現に 木浦群山附近にて上田一反步十[illegible]圓內外にて買ひつゝある事實を如何[illegible]
▲而も 買手の韓人多きも現金を以て買[illegible]べき人少し韓人等は買手を求めつゝある
▲若し 夫れ現金を以て慶尙全羅の水田[illegible]買はんとせば一反十圓ならば殆ど[illegible]
▲事實 を無視したる辯護は何等の價値[illegible]じ偶々自巳の淺識寡聞を披瀝するに止る
▲如何 に御用紙と雖も方角違ひの挑戰[illegible]味方の爲に不利益となる也些と愼めよや
▲批評 を愼重にせよとの說は夫々自[illegible]に當て嵌る也先づ已が目の梁を除却すべ[illegible]
▲統監 辭意の說と共に種々の風說起り[illegible]る何れも捕捉すべからざるものゝみ多し
▲西園 寺侯の統監たるの說もあり山本[illegible]兵衞伯の說もあり暫らくは風說頻起[illegible]
▲西園 寺侯にして統監たらば現狀で[illegible]異る所なし侯の病弱なる到底起[illegible]
▲寺內 陸相の呼聲は最も高き[illegible]氣にならずと云へば是も亦六ケ敷か[illegible]
▲翅り 翅て權兵衞伯に於[illegible]限らぬ權兵衞伯ならば或は一寸面白かる
▲倚浦 奎吾の噂もあるがど[illegible]の和尙元來小才を畜ひ過る先以て不適任
▲何れ にしても山縣系に一度其抱負を[illegible]行さして見たいものだ如何な事をするか
▲無論 伊公の饒舌不斷的よりも幾分か[illegible]も優る所あるやも知れず遣らせて見る[illegible]
▲兵實 は更に角高帶として樂れ高き[illegible]律師も終に死去せりと云ふ異に惜むべき
▲高僧 盡者も同じく寄る年波には抵抗[illegible]る能はず生者必滅、會者定離南無阿彌陀[illegible]
▲希臘 とクリート島とは亦々葛藤を生[illegible]て今や平和に濟むまじき形勢とは甚だ[illegible]
▲小邦 の爭ひは自然の基也雄邦の某[illegible]は手を拍て其事を喜ぶ自重するこそ肝[illegible]

●韓國人の實業奬勵 李秉淵、閔元植の二氏は去る十三日午後八時宮中顧問官李允用邸に會合し實業奬勵[illegible]

●浦鹽と間島の暴徒 浦鹽に潛伏せる暴徒の主魁柳麟元は間島を[illegible]

べしと豫言し居れりと

●城津港築港の輿否 城津港の死活問題[illegible]

●江岸の活氣と商勢 近來大同江は船舶の航行增加し江岸は一般に活氣を呈し殷賑[illegible]

大に斡旋して成立に努めたる大邱繁榮會は大破損を爲したれば不取敢數千圓を投じて十三日發會式を達城館樓上に開きしが來會[illegible]

●李根澤、閔元植の二氏は去る十三日午後八時宮中顧問官李允用邸に會合し實業發達の目的を以て興業會を組織せんとて種々協議する所ありたりと

●浦鹽に滯留せる暴徒の主魁柳麟元は間島を根據とせる同國李範允と氣脈を通じ……かに銃器彈藥を購入しつゝある由なるが彼等は平安南北道を襲擊し京城に侵……へしと豪言し居れりと

●城津港築港の調查 城津港の死活問題……通日建築所より役員二名を城津に派し調查せしむることなりたりと

●……の航行增加し江岸は一層に活氣を呈し殺……盛況に向ひつゝありと

●大邱繁榮會發會式 先月來官民有志者……十三日發會式を達城館樓上に開きしが來會……

●新義州の棧橋修繕 ……年の結氷中に於いて同社及び稅關の棧橋共……渡江會社にては本……從來の棧橋に大修繕を施し……



●玉子嬢の初戀(二)

それから久しく玉子は其人と絶えて逢ふ機會もなかつたのであるが胸は何時でも千切要のしばしも歛まる時とてはなく「思はじと思ふ心の末よりも猶しも人の幻に立つ」と何時頃の事であつたかそれは知らぬ机に向つて何やらの新刊小説を擴げて居るとふと俄に人の氣が爲るので吃驚して振り返ると思ひがけないにも程がある、暫くも忘れぬあの人が入つて來たのである、玉子は幾衣に着古した堅縞の水淺黄のフランネルにそれも締め古るした緋糯子の細帯を締めて居るのが何やら恥かしいと顔が眞赤になると「玉子さん御勉強ですか」と聲をかけて突然玉子の側に座つてしまつた何時の間に自分の名を知られたであろふヤア何うした事と華の悪いよりは驚きに身が顫るへて机から退かうとすると止やうとするあの人の手がツト肌膚の肩に觸ると胸が騒る胸が騒る、あゝ誰か來はせぬか來てこんな有樣を見られたら何うしやう……と退かうとするとあの人の膝が自分の袖を敷いて居る「貴嬢私の妻君に成らんですか」とつとあの方が玉子の腕を抱ねて手先を握る、素肌に着て居たフランネルの袖はずくれて白い腕からは皮膚の温みが通ふ、呀と思ふ一瞬の中で始めて現在に恥かしく瞬間なりとも妻を擎と……に醒めて「あゝ夢であつたか」ほつとして破れるやうに胸の動悸も覺ゆる事も一度や二度の事ではなかつたされば小説を讀んだ後などもその脚色の中の男と女が何時でも自分と……あの人とになつて彼様あつたらは此様あつたらばと自分にさへも内密にツヅトもゝ胸の底で興じたのに偽はあるまいかゝる中にも年は暮れて明治も四十二年となつた或日外より家に歸へれば昨年この方しばしも忘れた事のない戀しい〳〵その人は顯らずも玉子の父といと睦ましくも語り居るのであつた、その時の玉子の心は一種異様の感に打たれて胸は轟き手は戰き眼を閉づれば定めし金色の輪が空中に舞ふたであろふ、敢て云ふあの人とは○○地方郷の藤村虎雄といふ役員である、これから此の男は度々玉子の家を訪づれたが玉子の父は「彼の男は心が優しくして勇氣に富み才があつても輕薄でなく容貌も何處かに威嚴が備つてゐる天晴れの好男子ぢや」と藤言でも聞いてゐてこすりを言ふのではあるまいかと思はるゝ位ひに褒めちぎるので玉子は身にしみて嬉しさと恥かしさとを覺ゑたのである

●可憐なる離鳥(一)

▲天魔に魅入れし亭主 ▲孤閨に泣く糟糠の妻

春來れば野邊には花の艶を競いて空には諸ふ揚雲雀の聲も長閑に人の心も落ち付かぬ今日此頃之はまた憐れな話を聯くものかな生れは新潟縣西蒲原郡稻田村大字板井の片田舍にて目下北署錦町一丁目あたりの温突に棲むれ八重となん呼ぶ女房あり字は中谷吉三と云ひて幼馴染みの夫婦同志なるが濡れ手に粟の噂を信じて相携ねて渡韓したるは今を去る事四年前未だ如月の末つ方にて結氷中の事なり兎かくて夫婦は一先づ京城黄金町なる知人を頼りて草鞋の紐を解きたりしが何時迄も斯くてあるべきにあらねばやがて前記の温突を借り受け韓人向の雜貨店を開きて互ひに勵み勵まされつゝ至極眞面目に立働らくより稼ぐに追ひ付く貧乏なし何時しか多少の小金も貯めて家計も豐かになり行きしが満つれば虧ぐる世の習ひ吉三の心に弛みを生じて料理屋酒の味ひを覺えたるもあたてけれさるからに玆に西大門外若菜屋となん呼ぶ料理屋に山本初とやら云ふ酌婦あり一寸澁皮の剝けたる色白の愛嬌ものなるが吉三は何時しか此の魔物に魅入られ折角夫婦にて貯へたる金も瞬くひまに入れ揚げたる始末に妻のれ八重は見るに見兼ねて夫の膝に縋り付きよゝとばかりに泣き沈みつ誠をこめて口說き立てしが流石の吉三も吾妻不憫とや思ひけん暫しが間は身を慎しみて家業大事と働き居りしが又も起る煩惱の犬は追へども去らざるたとへソロ〳〵逆戻りをオツ始め掛けたり(つゞく)

●水安堡の温泉

▲往古一乞食發見せし者

忠清北道水安堡洞には往古より發掘に係る温泉あり水質鑛分を含み温度の如き沸口は約百二十度乃至約百三十度に及べり然れども浴槽の如きは混水甚しく約四十二度乃至四十三度位の温度を有す且つ其効驗たるや胃より發生する諸病及疥癬及痔疾等に尤も効驗あり而して一ケ年の湯治者は約四百有餘名の多きに達し內尤も湯治者の多數なる月は二三四月及八月に至り農事の閑散に伴ひ多數の來浴者ありと云ふ然るに該温泉發見當時の由來を聞くに確然たる事は判明せざるも往古よりの傳說に依れば發堀當時兩足兩手の自由を失し痙攣し居る一乞食あり玆に毫を敷き多少の温度を有するを以て之を奇異に感じ遂に起臥する事約一ケ月の久しきに及びぬ奇なる哉痙攣し居たる兩手足は自然に癒し治氣を得るに至りたるに感驚し初めて地中驗著なる藥物の存在せるを知覺し直に之を發堀したるに果然温泉沸湧し以て今日に至り持續せるものなりと

●仁川の酌婦檢査

仁川市中の飲食店に居住する酌婦の身体檢査は一昨日午後二時より仁川病院に於いて勵行せられたるが受驗者四十二名の中有毒者は十四名と云ふ實に驚くべき多數に達したり左に其姓名を擧ぐれば朝日亭高橋てるよ內田せいは下瑞一二三亭小田よしは橫濱熊谷亭の竹本きわ和田亭福永まつわ榮月亭今井ひさ明石亭神世はる耶馬溪亭の中村ゆきは有毒病に罹りたる外和田亭の福永とし熊谷亭田所よし一二三亭吉村はる松山樓吉村きち廣瀨すめは皆洗滌を要するものなりと因に猫島の檢梅は明日勵行せらるべしと

●楚山附近の增水

平安北道楚山附近は去る四五日來の降雨の爲め河川一般に氷解增水し且つ氷塊の流下により橋梁の破壞流失せしものあり爲めに渡舟大に危險にして楚山江界間の交通殆んど杜絶せる狀態なり而して鴨綠江も流氷の爲め楚山附近より對岸への渡航は極めて危險なりと

●全北の大火災

十三日午後一時三十分全羅北道益山郡春浦面に失火ありたるが燒失家屋五十餘戸、死者一、傷者四にして尙居所に困難する者三百餘名に及ぶ由なるを以て同道廳は直ちに吏員を急派して應急の救助を爲しつゝありと

●賊徒討伐彙報

全羅南道兵營分遣所上等兵以下八は三月二十五日同地西南約八里の地に於て賊約二十を討ち一を殪し一を捕ふ▲全羅南道谷城東南五里桐溪里停止所の內上等兵以下五は四月二日同地西北約三里半の地に於て賊十一を討ち五を殪し銃三を鹵獲す

●破獄囚人の逮捕

去る十三日夜京城監獄署を逃走したる七名の四人中內亂罪柳文在、強盜犯殷海潤の二名は一昨十五日午後十時十五分北部警察署の爲逮捕せらる

●仁川の天然痘患者 仁川警察署の韓人部落戸口調査員は一昨日松林里にて春術(八)及び桑木洞李仁儀(十八)なるもの天然痘に罹り居るを發見し直に濟生病院に收容す

●敷島遊廓の水揚高 仁川敷島一昨夜の遊游者は統計五十三名にして其の遊興費揚高は二百四十圓と九十五錢なりと

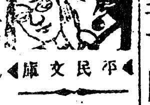
●皆春樓の新着嫁 橫濱產藤谷フジは玉助と名乘りて皆春樓より今晩あり……

●寧邊地方の牛疫 平安北道寧邊郡賢井には十五日牛疫發生す

演藝界

●壽座の替り 人氣湧くが如き壽座の竹本一昇一座義太夫本日の語物は左の如し

義經腰越狀 泉三郎館 定太夫
れ俊傳兵衛 堀川の段 小富士太夫
朝顔日記 宿屋の役 團朝
阿漕浦 平治住家の段 輝美太夫
岸の姫松 第三段目 梶登太夫
金比羅利生記 百度平內 一昇
大切 千兩幟 猪名川內(總掛合)
れとわ(一昇)猪名川(輝美)鐵ケ嶽(梶登)北の屋(小富士)ひろい(定)櫓太鼓曲彈き 松澤助六



▲平民文庫▲

▲西小門通り日の出亭のれ初ちやん君は昨日午後二時半頭裏の材木置き場の材木の上に崩黄裏の滞園ル辨慶縞の襦袢一枚をオツ澄げ伊太利亞チルになつて寢ころんで居たのは未だしも千手觀音の征伐をして居つたねアノ人に見られ

齒科診療

東京齒科大學專攻 統監府囑託齒科醫 南山町巴城館上隣 自午前八時 至午後五時

飯塚徹

電話千百四十番 開通

●韓語獨習

日語	韓語
左樣致しませう	クリー、ハリタ
道は良いか、よくないか	キールン、チョツソ、チョッチアンソ
大層、險阻です	マイウー、ホムハオ、
道は、大概好うございます	キールン、タイカン チョツソ
水は、深いか淺いか	ムールン、キプニヤ、イヨツトニヤ
港は、幾里ほどです	ポークカー、ミヨンニナー、トイオ
凡そ、五里許りです	ハン、オシプニナー、トイチヨ



●花柳巷談 似合の花較べ(七)

伊豫之守

▲ぽん太と政子 京城の若手藝妓連中で藝の秀でたる事恐らく此兩君の如きは有る間敷と存候、ぽん太君は花月の呼物にして粹樣先刻御承知の通り清華亭の三太君の親身の妹に候、顔こそ宜からざれ藝に於ては頗る器用なる上、覺へも一入早く而かも記憶力強く先天的藝術の技能に秀で居り候、其得意とする處は長唄なるも、清元も踊りも達者との事に候、政子君は井門の御大にして藝術に於ては恐るべき天才を有しありとあらゆる遊藝は何一つ知らざるなく其多藝なる事京城藝妓中彼れの右に出づるものなしと云ふも決して過賞にあらずと存候、併し廣きものは深からずとやらにて專門的のものは之れと云ふてはあらざれど就中常盤津が最も得意の樣に候、兩君共藝に於ては斯くも秀で居り且つ性質も頗る怜悧なる方なれども容貌だけは氣の毒ながら六十點以上は附けられ不申候、此兩君が斯くも京城花柳界で重視さるゝに付け序を以て兩君の前身をさらけ出さんに生れは共に東京なれども、●●●ぽん太君は山の手は神樂坂で又●●政子君は新富町で仕込まれたるものにして余り甘味のなきまゝ朝鮮三界迄流れ來りしものと聞かば京城藝妓の相場も大抵な者と察せられ申候……次は老妓れ辰とれ蔦……

……ると愛相を盡かされやせ僕と君との交誼だから內密で注意するよ外には誰れも見た人はないから安心し玉へ秘密だよ(度支部の●●●●樓上より僕)▲明治町の衛生床では大に自ら省みる所ありしと見へ此の頃は主人初め大に客に對して親切懇篤を極めたものだ何んでも人の惡口は此の家の主人の樣に善意に解釋して改良すべきです統監府や拓殖會社のれ役人連チト眞似でもしたら何うだ(萬岳樓主人)▲京日子は東拓の御用を承つたのですか(伺度生)▲昨日の本欄に於るヨボ君の囚徒取締りに對する希望は尤も至極です私も同感に堪ねんよヨボ君よ何も其機に恐れ入らずとも宜しいよ(一日本人)▲明治町敷島のしず子さんはべのひんでをとなしくてなか〳〵のあいきよーものだ、しず子さん御頼み通り出しましたよ(●●生)▲京城座の役者は實に不都合千萬だ自分等が用事の無い時は見物人の處に來て酒を呑んで大きな聲でわひ〳〵喚きやがる大根役者のくせに馬鹿者が(見物人)▲貴社主催による大運動會又は遊山會でも催ふしては如何です(遊好生)▲貴社の花柳巷談似合の花較べは非常に面白い願くは連日掲載ありたし(愛讀者)

●天氣豫報(自十六日午後六時至十七日午後六時)

南西の風晴

十五日 最高溫度 五三、二 最低溫度 三四、〇 (華氏)

廣告

●仁川警察署增築其他修繕工事 右五月三日入札ニ附ス詳細ハ十六日以後ノ官報又ハ當所及仁川出張所ノ揭示ヲ見ヨ 建築所

●咸興財務署廳舍其他新築工事 右五月五日入札ニ附ス詳細ハ十七日以後ノ官報又ハ當所及元山釜山出張所ノ揭示ヲ見ヨ 建築所

小生本日南大門發歸朝仕候就テハ御暇乞ノ爲メ拜趨可仕之處行李一々欠禮仕候乍略儀此段御挨拶申上候 敬具

巨智部忠承
同 久子

従軍紀章授與者居所不明

左記の者へ對し三十七八年從軍紀章授與相成候處住所不明にて交附難致に付本人又は心當りの者其住所至急當部へ申出づべし

明治四十二年四月十七日

韓國駐劄軍司令部

左記

韓國居留民 永井弘貞



新燃料 實用燃料 **無烟煉炭**

（特色）（用途）火付善く火力耐久價格低廉 … 鐵 暖爐 竈用に適す

周防徳山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場

京城特約店 … 巴商會 … 京城太平町二丁目

▲無料紹介欄▼

人事部

下女至急入用 廿四五歳より四十歳位迄給料十圓まで 氏名在社（二一八）

女中入用 裁縫の心得ある者廿五歳以上の婦人を望む 旭町一の六十 旭町號賣所（二二〇）

通譯 希望 給料當初望ます 氏名在社（二二〇）

一年齡二十歳身体强壯高等小學校卒業家内の少き内に於て餘暇裁縫教授を受くべき家に下女奉公を望む 旭町一の三二九 まちだ（二二三）

被雇 甲種商業學校出身一年志願兵現役終了給料不望個人商店を望む 姓名在社（二二二）

軍隊出身 身体頗强壯軍隊出射常事業を求む年廿三 衣食に差支へなき限り通や報酬を不望 氏名在社（二二四）

物件部

電話貸したし 氏名在社（二一三）

電話賣りたし 氏名在社（二一四）

電話格安に讓りたし 社内 中村

床屋讓渡したし 氏名在社（二一二）

廣告

持合 花ナ王 京城南山町一病院前 電話一〇二五番

電話開通 九九〇 京城大和町二丁目 青雲亭

男女生徒募集 簿記學速成教授 規則書郵劵二錢 但一人毎に教授す何時入學するも差支なし

新式 官廳簿記學教科書 代五十錢

京城籠町二の三七 統監邸下 京城簿記學校

九州セメント 今回大割引を以て販賣仕候間御用命被下度候 京城南山町一丁目電話三四四番 山村商店 龍山元町二丁目電話三三二番 林藥店

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）京城旭町一丁目六十七番戸 辯護士 岡田榮（電話三九八番）

大勉强賣出し

拜啓漸く春暖の候に趣き候折柄大方の各位益々御清祥奉賀候陳て弊店儀皆々様の御引立により日増しに隆盛に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬ひん爲め破格の大廉價を以て販賣可致候間何卒御用命被仰付度偏に奉希上候 並に値段等も御持參下され候へば精々勉强致し其の上クリーム一個宛進呈仕候

京城本町理事廳前 富田製靴本店

同 本町六丁目 同 第一支店

同 南大門外 同 第二支店



眼科 内科 外科（入院 隨意）

南山町二丁目 植村病院跡 松岡醫院 電話六七五番

新荷着廣告

歐州各國帝室御用品 品質優等意匠艶麗

G.D 印トルコ金口煙草（十本入 百本入）

外各種 百本入、二十本入、十本入とも右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候

追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候

直輸入元 仁川本町一丁目 トルコ煙草商會 電話（七一五番）

龍山 東山の手柳町 萬長旅館 電話四〇〇番

電話開通 千百五十二番

和洋紙 文房具 帳簿 印刷 京城本町 北内商店

二荒 仁川宅支店

京城南大門通三丁目 起業會社筋向 高等待合 紅葉 設備の不行屆と客室の清潔ならざるは場所の不便なると御愛顧とを以て償ひ得て餘りありと存候

鴨緑江特種木材九州セメント取次販賣 末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材 京城旭町三丁目 建築業 柴田芝六 電話五六八番

青々園 風味絶佳 實質の優秀 者を兼備す 正銘宇治茶京都の茶器 故に尤も進物用に適當なり

京城本町四丁目 茶器 茶商 青々園茶舖

諸傘 印入並に提灯類 和洋蠟燭あり 京城明治町一丁目 大島商店

▲清潔の下宿▲ 客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間陸々御投宿の程御願申上候 西明治町二丁目 かめ屋 ▲懇切の下宿▲

銘茶 富士の星 京城本町 …

電話開通 千百二十七番 二十錢均一にして毎夜無休 午後六時迄に御越の方に限り十五錢雨天は半額 京城座

明治廿年七月創立 東京火災保險會社 資本金二千萬圓 京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

電話開通 九五五番 生蕎麥 東京庵 壽町三丁目

各方御好 新疊及表替調達 竹中茂右衛門 電話六〇七番

電話開通 牛豚雞肉 一〇四二 石田精肉店 京城明治町一丁目

純良 牛乳 元祖 京城大和町一丁目 平山牧場 電話百三十三番

特約販賣 自製 漬物 味噌 醬油製造元 大上商店 京城本町五丁目（電話二五番）

和洋酒、罐詰、穀物、麵類、鰹節、食料雜貨、ビール、果物、乾物、荒物、唐辛各種特約販賣 御申に依り直接申調進仕候

直輸入 リノリーム各種 リノリ油類 右到着仕候間御用命下され度候 京城支那領事館通り 清韓洋行（電話四九四番）

神田組

請負 荷物運搬 荷造及運搬 諸官衙人力車 御用 伊藤組 營業 京城黄金町（電話七三番）本店 同本町三丁目（電話四〇番）

氣候變化 牛乳 純良 消毒 韓國畜産株式會社 南大門外（電話八八番）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候 資本金 參百萬圓 積立及繰越金 八拾萬圓 京城南大門通 株式會社 十八銀行 京城支店（電話四二〇）

本店 長崎市築町 支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、鎭南浦、五島、佐世保 大阪 熊本

其他日本、韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

韓國 日本

貯蓄預金 長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

洋種 純良牛乳 京城南大門外 … 牧場

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

仁川海岸通 貨物及船客取扱店 郡回漕店 電話三九番

●大連行（船客御斷）新潟丸 日正午時出

●… 山東丸 五月 九日午後三時出

●芝罘、大連、牛莊行 高砂丸 四月 廿二日正午時出

●大連、大沽、牛莊行 … 丸 四月二十七日前五時出

●大連、大沽、牛莊行 横田丸 五月 十三日正午時出

●釜山出帆、元山、清津、浦潮行 立神丸 四月二十八日

御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎賃八錢 本船出帆ノ約五十分前ニ解纜…

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金四十錢 三ヶ月…

●廣告料 五號活字十九字詰一行一回四十錢…

發行兼編輯人 秋山忠三郎 印刷人 高木久太郎 發行所 京城… 京城新報社 電話六六三